

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第7節 下水道			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 下水道の整備促進			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	排水施設管理			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	下水道課			排水施設の清掃委託業務を実施した際に、伏越室内の施設が経年劣化による錆等により、腐食・欠損等していることが判明したため、施設の修繕を併せて行い、効率化を図ることができた。			
事業概要	利用者の快適な生活の確保や事故防止のため、排水施設の修繕、清掃等を行い、施設の機能維持を図る。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他			事業の成果・分析			
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	下水道法						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		11,659,000				
	財源内訳	一般財源	11,659,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		11,656,558				
	不用額等 (円)		2,442				
	執行率 (%)		99.98%				
実施内容		排水施設の修繕、清掃等を実施した。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	人孔、管渠等の清掃	千円	9,567				
	人孔、管渠等の修繕	千円	1,299				
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		利用者の快適な生活の確保や事故防止のため、排水施設の清掃等を行い、今後も引き続き施設の機能維持を図っていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)		3 事業評価 (Check)	
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】	事業の実施状況	B
施策領域	第7節 下水道	事業の必要性【市民ニーズ】	B
施策項目	施策1 下水道の整備促進	事業の効率性【見直す余地】	A
事業	公共下水道事業会計繰出金	施策への貢献度	B
所属	下水道課	<div style="font-size: 10px;"> A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず A：高まっている B：変わらない C：薄れている A：余地はない B：余地はある A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い </div>	
事業概要	公共下水道事業会計に係る繰出金	公費で負担すべき雨水処理費等の費用について、地方公営企業の繰出基準に基づき、一般会計から公共下水道事業会計に適正に支出した。 また、補助金（基準外繰出金）については、年々減少傾向にあるものの、引き続き公共下水道事業会計の安定的・継続的な運営に努め、更なる減額に努める必要がある。	
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業の成果・分析	
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
根拠法令等	地方公営企業繰出金について（総務省通知）		

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・決算	予算現額 (円)		867,043,000					Ⅲ	
	財源内訳	一般財源	867,043,000						
		特定財源	0						
	支出済額 (円)		783,079,142						
	不用額等 (円)		83,963,858						
	執行率 (%)		90.32%						
実施内容		一般会計から公共下水道事業会計へ負担金、補助金及び出資金を支出した。					地方公営企業への繰出基準に基づき、一般会計から公共下水道事業会計に適正に支出するとともに、公共下水道事業会計の安定的・継続的な健全経営に努めていく。		
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	補助金（基準外繰出金）	千円	153,354						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)			3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】		事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第7節 下水道		事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 下水道の整備促進		事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	污水排水対策推進		施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	下水道課		事業の成果・分析 污水管路ストックマネジメント計画に基づき、既存施設の正常な機能の維持に努めるため、污水管に管口カメラを入れ、劣化状況を調査ができたこと、また、既存の污水管改築工事を行うことができたことから、概ね目標どおりに進めることができている。また、新座駅北口土地区画整理地区内において、污水枝線の整備を行ったことから、生活環境の向上・改善及び自然環境の保全を図ることができている。			
事業概要	污水管路ストックマネジメント計画に基づき、既存施設の正常な機能の維持に努めるため、劣化状況を調査し、改築を実施する。また、生活環境の向上・改善及び自然環境の保全を図るため、污水枝線の整備及び污水樹の設置を推進する。					
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他					
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度					
根拠法令等	下水道法					
2 事業実績 (Do)			4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	予算現額 (円)		377,864,000			
	財源内訳	一般財源	56,732,700			
		特定財源	122,300,000			
	支出済額 (円)		179,032,700			
	不用額等 (円)		36,831,300			
	執行率 (%)		47.38%			
実施内容		污水管路ストックマネジメント計画に基づく既設管管口カメラ調査、既存の污水管に係る改築工事、新座駅北口土地区画整理地区内における污水枝線の整備等を実施した。				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位				
	污水管渠整備延長	m	314.01			
	污水整備面積	ha	1542.3			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
今後の取組方針		今後、法定耐用年数を経過する管渠が増加することが見込まれることから、污水管路ストックマネジメント計画に基づき、既存施設の正常な機能の維持に努めるため、管口カメラやテレビカメラ調査などにより、污水管の劣化状況を把握し、優先度を検討した上で、既存の污水管の計画的な改築を実施に努める。また、生活環境の向上・改善及び自然環境の保全を図るため、事業認可区域の計画的な整備を推進していく。				

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第7節 下水道			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 下水道の整備促進			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	雨水排水対策推進			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	下水道課			事業の成果・分析 雨水幹線及び雨水枝線の整備については、概ね目標どおり整備を実施することができた。また、雨水管理総合計画に基づく雨水管整備を推進するための設計業務委託の着手ができたことから、今後も着実に推進していく必要がある。既存の雨水管調査については、簡易テレビカメラ調査及び潜行目視調査を実施することができ、概ね目標どおりに調査を進めることができている。			
事業概要	降雨時における雨水を速やかに排除し、安全で快適なまちづくりのため、雨水幹線及び雨水枝線の整備や溢水対策を推進する。また、雨水管理総合計画に基づく雨水管整備を推進する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	下水道法						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	財源内訳	予算現額 (円)	691,962,300				
		一般財源	74,603,120				
	特定財源	388,300,000					
	支出済額 (円)	462,903,120					
	不用額等 (円)	53,059,180					
	執行率 (%)	66.90%					
実施内容		雨水幹線及び雨水枝線の整備のほか、雨水管理総合計画に基づく雨水管整備を推進を図るための、設計業務委託の着手、既存の雨水管に係る簡易テレビカメラ調査、潜行目視調査等を実施した。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	雨水管渠整備延長	m	730.75				
	雨水整備面積	ha	849.9				
今後の方向性		Ⅲ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了					
今後の取組方針		降雨時における雨水を速やかに排除し、安全で快適なまちづくりのため、雨水幹線及び雨水枝線の整備や溢水対策の推進に努める。また、近年の降雨の局地化・激甚化や都市化の進展に伴い、既存雨水管の能力では対応できない状況があることから、新座市雨水管理総合計画に基づき、優先順位を付けて雨水管整備や更なる溢水対策に努める。					